

第188回

山形県社会教育委員の会議

兼 山形県生涯学習検討委員会

◇ 期 日： 令和2年 2月13日(木)

◇ 時 間： 13:40 ~ 15:40

◇ 場 所： 遊学館第1研修室

次 第

1 開 会

2 山形県教育委員会挨拶

3 出席者紹介

4 座長選出

5 議 事

(1) 令和元年度 社会教育事業について

【資料1】

(2) 令和2年度 社会教育事業について

【資料2】

(3) 令和元年度 生涯学習推進状況について
(※ 生涯学習検討委員会の内容)

【資料3】

(4) その他

6 連 絡

7 閉 会

● 「生涯学習検討委員会」

県の生涯学習推進体制の整備を目的に、生涯学習関連部局等が連携し、総合的に施策が展開されるよう設置した「生涯学習推進委員会」とともに、外部有識者より「第5次山形県生涯学習振興計画」の進捗状況を把握し、必要な提言を行っていただくための組織。

山形県社会教育委員

No.	氏名	役職	備考
1	あんどう こうき 安藤 耕己	山形大学地域教育文化学部 地域教育文化学科教授	学識経験者
2	おだしまたてお 小田島健男	元遊佐町教育長 元山形県生涯学習センター学習振興部長	学識経験者
3	こばやし ひろあき 小林 裕明	山形新聞社論説委員長	学識経験者
4	さいとう あきら 齋藤 彰	元最上教育事務所社会教育課長 元神室少年自然の家所長	社会教育関係
5	さとう ひろあき 佐藤 博明	山形市立第十中学校長 (山形県中学校長会からの推薦)	学校教育関係
6	さとう ひろゆき 佐藤 博之	山形県PTA連合会会長 北日本白衣山形株式会社代表取締役	社会教育関係
7	たかはし かずえ 高橋 一枝	一般社団法人「とらいあ」常務理事 新庄市立図書館長	社会教育関係
8	たけだ まりこ 武田真理子	東北公益文科大学教授	学識経験者
9	たなか ゆうこ 田中 裕子	はつらつシニアの情報誌 「えがおdeねっと」編集発行人	社会教育関係
10	つだ ひろし 津田 浩	山形県立山形西高等学校長 (山形県高等学校長会より推薦)	学校教育関係
11	にいげき さとみ 新関さとみ	県家庭教育アドバイザー さとみの漬物講座企業組合理事長	家庭教育関係
12	にへい ひろみ 二瓶ひろみ	高畠町和田地区 地域学校協働活動地域コーディネーター	社会教育関係
13	はなわ ちあき 花輪 千秋	山形市立千歳小学校長 (山形県連合小学校長会からの推薦)	学校教育関係
14	ひろき あすみ 廣木明日実	特定非営利活動法人「With優」職員 置賜地域子どもの学習支援事業コーディネーター	家庭教育関係
15	ゆうき ななせ 結城ななせ	「やまがたこどもアトリエ」主宰	社会教育関係

(五十音順 敬称略)

県教育委員会等出席者

教 育 次 長		日高 伸哉
文化財・生涯学習課	課 長	熊谷 岳郎
文化財・生涯学習課 生涯学習振興室	室 長	木村 智行
文化財・生涯学習課	課長補佐	高橋 礼二
文化財・生涯学習課 生涯学習振興室	室長補佐	大築 誠
〃	社会教育専門員	藤田 雅彦
〃	社会教育主査	村上 康広
〃	社会教育主査	阿部 謙哉
〃	社会教育主査	工藤 陽介
〃	生涯学習主査	八柳 公俊
〃	青少年教育施設主査	田中 英也
〃	青少年教育施設主査	宮田 健二
〃	主 事	東海林 優

県生涯学習センター	学習振興部長	佐藤 久一
-----------	--------	-------

義 務 教 育 課	課 長	竹田 啓
村山教育事務所	社会教育課長	渡辺 聡
最上教育事務所	社会教育課長	柿崎 聖
置賜教育事務所	社会教育課長	安部 一博
庄内教育事務所	社会教育課長	小澤 敏一

○社会教育法(昭和 24 年法律第 207 号) (抜粋)

第 4 章 社会教育委員

(社会教育委員の設置)

第 15 条 都道府県及び市町村に社会教育委員を置くことができる。

2 社会教育委員は教育委員会が委嘱する。

第 16 条 削除

(社会教育委員の職務)

第 17 条 社会教育委員は、社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するため、左の職務を行う。

(1) 社会教育に関する諸計画を立案すること。

(2) 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。

(3) 前 2 号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。

2 社会教育委員は、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。

3 市町村の社会教育委員は、当該市町村の教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。

(社会教育委員の委嘱の基準等)

第 18 条 社会教育委員の委嘱の基準、定数及び任期その他社会教育委員に関し、必要な事項は、当該地方公共団体の条例で定める。この場合において、社会教育委員の委嘱の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

○社会教育委員及び公民館運営審議会の委員の委嘱の基準を条例で定めるに当たって参酌すべき基準を定める省令(平成 23 年文部科学省令第 42 号)

(社会教育委員の委嘱の基準を条例で定めるに当たって参酌すべき基準)

第 1 条 社会教育法(昭和 24 年法律第 207 号)第 18 条の文部科学省令で定める基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から委嘱することとする。

附 則

この省令は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

○山形県社会教育委員条例(昭和 24 年 11 月県条例第 68 条)

第 1 条 社会教育法(昭和 24 年法律第 207 号)第 15 条により、山形県教育委員会(以下教育委員会という。)に社会教育委員(以下委員という。)を置く。

第 2 条 委員の定数は 20 人以内とする。

第 3 条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が委嘱する。

第 4 条 委員の任期は 2 年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第 5 条 教育委員会は、特別の事情があると認めるときは、委員の任期中でもこれを解嘱することができる。

第 6 条 委員の会議は、教育長が招集する。

附 則

この条例は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

令和元年度 社会教育事業の実績

1 豊かな心と健やかな体を育成する

(1) 教育の原点である家庭教育、幼児教育の推進

< 1 学校・家庭・地域の連携協働推進事業「家庭教育支援の推進」 >

1 家庭教育支援検討部会の開催：年間 1 回開催

- ・委員委嘱：11 名（関係課：子育て支援課・義務教育課）

山形県家庭教育支援検討部会 6/6(木)13:30~15:30 県庁 1501 会議室
(11 名中7名が参加)

- ・県家庭教育アドバイザーの委嘱：29名（村山 14 最上 5 置賜 5 庄内 5）新規 2 名
(各地区 1 回 県家庭教育アドバイザー打合せ会議の開催)

2 家庭教育支援フォーラム（県内 4 地区）【国補助】

村山：① 5/14(火)「家庭教育を支援するには？～子どもの育ちを支えるために～」

講演 講師 土田収氏（児童養護施設 寒河江学園 園長）

グループワーク コーディネーター 金澤和子氏（県家庭教育アドバイザー）

② 9/18(水)「子どもの育ちを支える環境づくり」

講演 講師 阿南健太郎氏（一般財団法人 児童健全育成推進財団 総務部長）

最上：① 6/ 1(土)「子どもの望ましい生活習慣づくりをめざして」

事例発表・情報交換「情報機器の適切な利用のためのルールづくり」

高橋章氏（金山町教育委員会教学課 生涯学習・社会教育係長）

講演・演習 「子どもの望ましい生活習慣づくり」

コーディネーター 金澤和子氏（県家庭教育アドバイザー）

② 9/ 2(月)

講演：「家族で楽しむ時間の作り方～忙しいお父さんお母さんのためのアプローチ～」

演習：「子どもとできる簡単なゲーム体験」

講師：小野卓也氏（県家庭教育アドバイザー）

置賜：① 5/22(水)「わたしの指針“やまがた子育て5か条”活用法

～すべての親に家庭教育支援を届けるために～」

パネルディスカッション（県家庭教育アドバイザー・置賜地区）

コーディネーター 大村亨夫氏（県家庭教育アドバイザー置賜地区代表）

② 9/18(水)「ちょっと気になる子どもへの理解と支援」

講演 講師 梅田真理氏（宮城学院女子大学 教育学部教育学科 教授）

庄内：① 8/29(木)「やる気を引き出す魔法のことば“ペップトーク”」

講演 講師 小野弘志氏（一般財団法人 日本ペップトーク普及協会）

②12/5(木)「子どもの育ちを支える

～それぞれの立場で実現できる家庭教育支援とは～

講演 講師 金澤和子氏（県家庭教育アドバイザー）

3 やまがた子育て講座【市町村補助事業】（31市町村 188箇所予定）

・村山：11市町 58箇所

上市市(3小学校)、天童市(7小学校・1その他)、中山町(2小学校・1中学校)、

寒河江市(10小学校・3中学校)、河北町(5小学校・1中学校)、

西川町(1小学校・1中学校)、朝日町(3小学校・1中学校)、大江町(2小学校)、

村山市(3その他)、尾花沢市(6小学校・3中学校・1その他)

大石田町(3小学校・1中学校)

・最上：7市町村 29箇所

新庄市(6小学校・3中学校・1義務教育学校)

金山町(3小学校・1中学校・1社会教育施設)

- 最上町(4小学校)、舟形町(1小学校・1中学校・1社会教育施設)
- 真室川町(3小学校・1中学校)、鮭川村(1小学校・1中学校)、戸沢村(1小学校)
- ・置賜：8市町64箇所
 - ・米沢市(18小学校・7中学校)、南陽市(1小学校・1社会教育施設)
 - 高畠町(6小学校・1中学校)、川西町(6小学校・1中学校)
 - 長井市(7小学校・2中学校・2その他)、小国町(2小学校・1中学校)
 - 白鷹町(4小学校・1中学校)、飯豊町(4小学校)
- ・庄内：5市町37箇所
 - 鶴岡市(8小学校・3中学校)、庄内町(3小学校・1中学校)、三川町(3小学校・1中学校)、
 - 酒田市(11小学校)、遊佐町(5小学校・1中学校)
- 4 家庭教育出前講座(10箇所予定)【国補助】(村山3 最上2 置賜3 庄内2)
 - ・村山：①朝日町 9/4(水)朝日町役場
 - ②大石田町 1/6(月)アヲハタ株式会社山形工場
 - ③山形市 2/22(土)医療ケア児者・重症児者の会(予定)
 - ・最上：①舟形町 9/4(水)社会福祉法人舟和会 光生園
 - ②大蔵村 9/26(木)もがみ南部商工会青年部大蔵支部
 - ・置賜：①長井市 11/21(木)長井ライオンズクラブ
 - ②高畠町 11/28(木)白鷹町ロータリークラブ
 - ③米沢市 2/5(水)株式会社青葉堂
 - ・庄内：①酒田市 1/16(木)一條コミュニティセンター
 - ②鶴岡市 3/8(日)予定
- 5 家庭教育電話相談の開設「ふれあいほっとライン」継続実施
 - ・相談件数：(302)件(1月末日現在) 去年同期(295)件
 - ・広報カード:新小・中1年生と乳幼児健診分
 - ・市町村広報紙掲載依頼：5月・8月(2回)
 - ・SNSによる広報：8月
- 6 やまがた子育て生活習慣改善事業
 - ・「子どもの生活習慣に関する指針」の普及
 - ・県家庭教育アドバイザー及び市町村担当者を対象とした家庭教育研修会
4/18(木) 参加者 県家庭教育アドバイザー14名 市町村教育委員会22名 その他5名
 - ・委嘱状授与 ・県事業概要説明
 - ・パネルディスカッション
 - 「私の指針(やまがた子育て5か条)活用法
～すべての親に家庭教育支援を届けるために～」
 - コーディネーター 大村亨夫(県家庭教育アドバイザー)
 - パネリスト 渡邊裕子(県家庭教育アドバイザー)
 - 阿部 彰(県家庭教育アドバイザー)
 - 小野卓也(県家庭教育アドバイザー)
 - 齋藤雅志(県家庭教育アドバイザー)
- 7 子どもの生活リズム向上山形県フォーラム
(県PTA指導者研修会と同時開催)
 - ・11/9(土) 県高度技術研究開発センター多目的ホール

<2学校・家庭・地域の連携協働推進事業「幼児共育の推進」>

- 1 幼児共育ふれあい広場【市町村補助事業】：30市町村157箇所予定
 - ・村山：9市町34箇所
 - 上山市(3幼稚園)、中山町(1幼稚園・1保育所)、寒河江市(5保育所・2こども園)
 - 河北町(1幼稚園・2こども園)、西川町(1保育所)、朝日町(4保育所)
 - 村山市(6その他)、尾花沢市(1幼稚園・6保育所)、大石田町(1社会教育施設)

- ・最上：8市町村24箇所
新庄市(4幼稚園・5保育所・2その他)、金山町(2その他)、最上町(1こども園)
舟形町(1保育所)、真室川町(4保育所)、大蔵村(2保育所)、鮭川村(2保育所)
戸沢村(1保育所)
- ・置賜：8市町41箇所
米沢市(2幼稚園・7保育所・1その他)、南陽市(1幼稚園・1その他)
高畠町(4保育所・1社会教育施設)、川西町(2幼稚園・2保育園)
長井市(1こども園・1社会教育施設・7その他)、小国町(1社会教育施設)
白鷹町(2保育所・2こども園)、飯豊町(1幼稚園・1保育所・2こども園、2その他)
- ・庄内：5市町58箇所
鶴岡市(3幼稚園・14保育所・1こども園・10その他)
庄内町(4幼稚園・4保育所・1社会教育施設)、三川町(1幼稚園)
酒田市(12保育所・4こども園)、遊佐町(3保育所・1福祉施設)

(2) 豊かな心の育成

<1 「読育推進ネットワーク整備事業」>

1 読育推進ネットワーク研修会

村山：11/20(水)「絵本でつくる笑顔の時間」

講師：渡邊裕子氏(県家庭教育アドバイザー)

事例発表・グループワーク

最上：10/31(木)「読書ではじめる我が家の学び」

講師：本間俊美氏(この本だいですきの会庄内支部事務局長)

事例発表：「大人の読書おこしからはじめる子どもの読書～新庄・最上ゆかりの作家を通して～」

置賜：7/11(木)「読み聞かせ大好き!～読み聞かせは心をつなぐ～」

講師：小林知可志氏(山形大学教職大学院教育実践研究科 准教授)

事例発表：手塚娃子氏(あ～すまいり～ず(飯豊町) 代表)

庄内：9/10(火)「こんな読み方あったのか!?家読のすすめ!」

講師：本間俊美氏(この本だいですきの会庄内支部事務局長)

ピアノ：高橋祐輔氏(月山福祉作業所)

2 読育推進連携講座

村山：10/12(土)「とんで とんで くるくる」

会場：山形空港ビル

講師：明日美幸氏(県家庭教育アドバイザー)

最上：7/6(土)「夜空を楽しもう!～光と色のファンタジー」

会場：最上広域市町村圏事務組合教育研究センター

講師：矢口徹氏(最上教育研究センター研究主事)

高橋一枝氏(新庄市立図書館館長)

佐藤良知氏、伊藤久仁子氏(舟形町読み聞かせサークル)

半田季三子氏(金山町読み聞かせサークル)

置賜：11/10(日)「さあ!ひかりのワンダーランドへ

親向け講話と読み聞かせ・サイエンスショー・理科工作」

会場：南陽市沖郷公民館

講師：高瀬尚美氏(家庭教育アドバイザー)

SCITACenter@米沢

庄内：6/29(土)「とびこめ!!トンボワールド&絵本ワールド in ほとりあ」

会場：鶴岡市自然学習交流館「ほとりあ」

講師：本間俊美氏(この本だいですきの会庄内事務局長)

上山剛司氏(環境教育工房Linux)

<2 「豊かな体験による青少年の自立を促す環境教育事業」>

1 内容

- (1)遊佐町主催の海岸清掃活動への参加を通じた環境教育の実施
- (2)地域住民との関わりやボランティアを通じた自立支援を促す活動
- (3)複数の拠点施設関係者の実行委員組織による計画・立案・実施

2 期日・場所

7/6(土)～7(日) 1泊2日 金峰少年自然の家分館海浜自然の家及び遊佐町内

3 対象・参加者

- (1)対象：フリースクール等に通う中学生・高校生等(22名) 左記引率指導者(10名)
- (2)参加者等<実績> 計7名 内訳(小学生3名 青年4名) 引率指導者5名
※米沢市にあるNPO団体「から・ころセンター」から参加

4 主な活動

- (1)社会とのつながり学習及び体験：西浜海岸クリーンアップ体験、海洋ごみ問題学習 他
- (2)生活体験：野外炊飯、出会いのつどい
- (3)自然体験：天体観測、海つり体験、ジオガイドツアー(丸池様、釜磯海岸散策)

5 実施体制

- (1)①体験型環境教育プログラム：(委託)NPOパートナーシップオフィス
- (2)環境教育事業実行委員会(事務局：生涯学習振興室)
から・ころセンター(米沢市)、with 優(米沢市)、発達支援研究センター(山形市)より
1名ずつ3名の実行委員によるプログラム立案、実施及び参加者支援

2 郷土に誇りを持ち、地域とつながる心を育成する

(1)郷土愛を育む教育の推進

<1 「視聴覚教材普及事業」>

1 県自作視聴覚教材コンクール

第68回コンクールについて

- ・実施要項発送 6/12(水)
- ・受付期間 12/6(金)～12/16(月)
- ・審査会(非公表) 1/17(金) 遊学館
応募作品数：学校教育部門6、社会教育部門16、児童生徒作品部門10
審査結果：最優秀賞6(学校教育2、社会教育3、児童生徒作品1)
優秀賞9、入選12、佳作5
- ・表彰式・発表会 2/15(土) 遊学館

2 令和元年度全国自作視聴覚教材コンクール

山形県：26作品出品 入賞：6作品(優秀賞1作品、入選5作品)
・優秀賞「遊佐町のアマハゲ」みわの会と多機能型通所施設ゆうとびい(遊佐町)

3 視聴覚教材の普及

- 郷土に根ざした作品の複製を通して地域文化の再認識、継承、啓発に努める
- 優秀作品の複製・公立図書館等への配布
 - 優秀作品の「ふるさと塾アーカイブス」への掲載
 - 複製・アーカイブス掲載作品「遊佐町のアマハゲ」
(令和元年度全国自作視聴覚教材コンクール優秀賞作品)

4 視聴覚教育功労者表彰

- 文部科学大臣表彰：加藤正人氏(南陽市)
- 全国視聴覚教育連盟：後藤弘実氏(遊佐町)

(2) 山形の宝の保存活用・継承

<1 伝統芸能育成事業「子ども伝承活動 ふるさと塾」>

1 市町村への活動支援

○村山地区、最上地区、置賜地区、庄内地区で指導者研修会と出前講座を実施（1月現在）

村山地区（指導者研修会(4)出前講座(16)）参加人数335名

最上地区（指導者研修会(0)出前講座(5)）参加人数185名

置賜地区（指導者研修会(0)出前講座(23)）参加人数793名

庄内地区（指導者研修会(0)出前講座(7)）参加人数195名

2 記録保存システムの運用

3 指導者の育成

4 子どもたちの発表機会

日本一さくらんぼ祭り「ふるさと芸能のつどい」

・6/22(土) 山形市立第一小学校体育館にて12団体の舞台発表（天候により会場変更）

（※ ふるさと塾賛同8団体、一般4団体）

5 その他

(1)市町村総合交付金の活用（34市町村）

(2)賛同団体の集約（7月に2団体、2月に1団体新規登録、現在306団体）

(3)ふるさと塾アーカイブス取材候補団体の取材・編集進行中（4団体公開済）

（映像確認・団体紹介文の作成・承諾書の提出を随時依頼）

ふるさと塾アーカイブスの一部英語表記化 取組みの選出及び編集中、今年度9団体）

(4)他事業との関連：各地区民俗芸能懇話会の立ち上げ

3 学校と家庭・地域が協働し支え合う仕組みを構築する

(1) 学校と家庭・地域との連携協働の推進

＜1「学校・家庭・地域の連携協働推進事業」＞

1 県推進本部・検討部会の設置（生涯学習振興室）

(1)本部会議：県教育庁内各課及び他部局関係各課へ事業の周知を図るとともに、県全体の推進体制や県の事業連携の在り方を検証する。

1/28(火) 県庁1602会議室

(2)検討部会：推進本部の話し合いを受け、各取組における課題や具体的な計画について協議する。

ア 学校支援活動検討部会 6/4(火)(後掲)

イ 放課後等支援検討部会 8/27(火)(後掲)

ウ 家庭教育支援検討部会 6/6(木)(再掲)

2 連携協働サポートチームの設置

(1)市町村推進協議会の立ち上げサポート（各教育事務所）

教育プラットフォームの構築に向け、市町村の実態を調査すると共に、総合的な教育支援体制を構築し、運営組織の見直し、他部局との連携を図る組織・ネットワーク作りを支援する。

(2)優れた実践の普及・啓発

サポートチームによる市町村訪問や主に教職員を対象とした研修会を通し、優れた実践の普及・啓発を図り、市町村における教育プラットフォームの構築と総合的な地域本部の設置を推進する。

村山地区：10/23(水) 村山総合支庁西村山地域振興局

・県、管内のCS設置状況について（村山教育事務所指導課）

・講話「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」

講師：竹原和泉氏（NPO法人「まちと学校のみらい」代表理事）

最上地区：6/25(火) 最上総合支庁講堂

・講演・演習「地域学校協働活動の推進に向け、学校と行政が共に取り組むこと」

講師：竹原和泉氏（NPO法人「まちと学校のみらい」代表理事）

置賜地区：11/22(金) 南陽市赤湯公民館

今こそ「学校を核とした地域づくり」「地域とともにある学校づくり」実現に向けた

我々の役割を考える

- ・県の事業説明（置賜教育事務所社会教育課）
- ・講演「コーディネーターを活用した地域協働の重要性」
講師：生重幸恵氏（NPO法人スクール・アドバイス・ネットワーク理事長）

庄内地区：9/5（木）庄内町文化創造館響ホール

- ・事例発表：「尾花沢市地域学校協働本部」「鮭川村地域学校協働本部」
- ・ワークショップ・情報交換
11/22（金）庄内町余目第二公民館
- ・講演「地域の子どもは地域で育てる～地域学校協働活動を支えるしくみづくりとは？」
講師：岸裕司氏（文部科学省CS推進員）
- ・ワークショップ

3 指導者の育成・学習機会の提供

(1) コーディネーター研修会の開催（年1回）【後掲】

(2) 地域コーディネーター等人材発掘

退職予定の教職員を対象とした「地域コーディネーター等人材発掘」のための説明会を開催
村山地区1/29（水）、最上地区1/22（水）、置賜地区2/6（木）、庄内地区1/23（木）

(3) 市町村補助事業の実施

各取組を一体的に・総合的に推進するための統合補助金制度

予算の範囲内で、各事業の補助金を弾力的に運用可能 ※詳細については取組ごとに掲載

<2 「地域学校協働活動の推進」>

1 学校支援活動検討部会の設置 6/4（火）14:30～16:30 県庁1201会議室

県事業（コーディネーター研修会）の検討及び市町村事業への支援・検証方策等についての協議

2 コーディネーター研修会の開催 8/1（木）県総合運動公園大会議室 参加者56名

○事業説明「地域との連携協働に向けた山形県の方策」

○事例発表

「学校の支援から協働へ 地域とともにある学校づくりをめざして」

院内小学校地域学校協働本部 にかほ市立院内小学校長 大須賀 博 氏

「学校と思いを一つにした放課後子ども教室」

ニツ森ゆう大学（玉野小学校区放課後子ども教室）学長 高橋 成男 氏

「他部局との連携による持続可能な体制づくりに向けて」

みやのうらっ子放課後子ども教室 宮野浦学区コミュニティ振興会 庄司 志希 氏

○情報交換会

3 市町村補助事業の実施

(1) 運営委員会の設置

(2) 地域学校協働本部の設置 小学校区や中学校区、又は市町村域を対象

- ・25市町村79本部、対象校131校

（※昨年 25市町村90本部、対象校122校）

- ・地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の配置

- ・学校支援ボランティア活動

主な内容：授業の補助、図書整備、キャリア教育、環境整備、読書活動、クラブ
総合学習（伝統文化、自然、IT、環境等）、登下校指導 等

4 地域学校協働本部の普及

「地域学校協働活動ハンドブック」を作成し、小中高等学校及び市町村教育委員会へ配付
教職員課が作成する「働き方改革通信」へ、表彰活動の事例を掲載

<3 学校・家庭・地域の連携協働推進事業「放課後子ども総合プランの推進」>

1 放課後等支援検討部会の設置 8/27（火）14:00～16:00 山形市東部公民館

県事業内容の概要及び市町村補助事業の実施状況、各委員の実践等について協議

2 コーディネーター研修会の開催

(再掲)

3 指導者研修会の開催 教育事務所ごとに年2回以上

・村山地区： 6/ 5(水) 実技研修(寒河江市文化センター)

講師：鈴木秀伸 氏(野外でできる五感を刺激する遊び)

鈴木藤弥 氏(仲間づくりに役立つレクリエーション)

明日美幸 氏(すぐできる 手軽なものづくり工作)

安藤 昭 氏(環境にやさしいリサイクル工作)

鈴木喜久雄氏(だれもが身につけておきたい手当ての基本と
一次救命措置)

9/ 18(水) 講演(天童市民文化会館)

講師：阿南健太郎 氏(一般財団法人 児童健全推進財団総務部長)

演題：「子どもと保護者の育ちを支える環境づくり」

11/29(金) 講演(村山市民会館)

講師：植木田潤氏(宮城教育大学 教授)

演題：「特別な支援を要する子どもの理解と適切なかわり」

・最上地区： 6/12(水) 講演・演習(最上総合支庁)

講師：花輪敏男 氏(FR教育臨床研究所 所長)

演題：「きれる子、パニックになる子の理解と支援法」

10/16(水) 講演・実技体験・情報交換(最上総合支庁)

テーマ：「子どもの遊びの理解と支援」

講師：石井 勝 氏(山形県キャンプ協会 事務局長)

演題：「遊びを通して、感性を磨く」

講師：安藤 昭 氏(山形県環境科学研究センター)

演題：環境にやさしいリサイクル工作

11/28(木) 講演(最上総合支庁)

講師：曾根章友 氏(東北文教大学短期大学部 准教授)

演題：「虐待が子どもに与える影響」

・置賜地区： 6/ 7(金) 講義・実技研修(長井市置賜生涯学習プラザ)

講義講師：内海由美子 氏(置賜総合支庁保健福祉環境部生活衛生課)

内容：「子どもの感染症予防について」

実技講師：島貫清美 氏(わくわくつくる 昆虫工作)

船山裕紀 氏(ボードゲームで運動遊び！)

石井 実 氏(どきどきわくわく科学実験)

安藤 昭 氏(楽しく作る リサイクル工作)

石黒悠起 氏(熱中！プログラミング体験)

9/18(水) 講演(置賜総合文化センター)

講師：梅田真理 氏(宮城学院女子大学 教授)

演題：「特別な支援が必要な子どもの理解と対応」

1/29(水) 講演(米沢市すこやかセンター)

講師：寒河江亜衣子氏(臨床心理士)

演題：「気になる子がわかる！変わる！接し方～事例検討編～」

・庄内地区： 8/29(木) 講演(庄内町文化創造館響ホール)(6/18の地震により延期開催)

講師：小野弘志氏(一般財団法人日本ペップトーク普及協会)

演題：「やる気を引き出す魔法の言葉 ペップトーク」

10/2(水) 講演・演習(三川町公民館)

講師：梅田真理 氏(宮城学院女子大学 教授)

テーマ：「放課後子ども教室、児童クラブ(学童)における特別な支援が必要な子ども達への対応について」

11/29(金) 実技研修(三川町公民館、三川町社会福祉センター)

講師:安藤 昭 氏 浦安 功 氏(手軽簡単!リサイクル工作)

金峰少年自然の家職員(木工クラフト・レクリエーション)

菅原とり子氏(軽スポーツを楽しもう!ポッチャ)

伊藤和美氏 丹治亜香音氏(みんなで楽しめる活動を考えよう ワークショップ)

中村郁雄 氏(リスクマネジメント講座)

4 市町村補助事業の実施

(1)運営委員会・学区毎の協議会(一体型のみ必置)の設置

・運営委員会は全市町村(実施市町村)に設置

(2)コーディネーターの配置:全市町村(実施市町村)に配置(行政担当者含む)

※地域学校協働活動推進員の委嘱状況…4名

(3)「放課後子ども教室」の実施:33市町村112箇所(H30:33市町村110箇所)

(4)「放課後児童クラブ」の実施(子育て支援課主管)

・申請予定 34市町村328箇所の設置(H30:34市町村318箇所)

(5)「一体型」(同じ建物もしくは同じ敷地内で教室とクラブを開設)

・7市町村 14小学校

<4「PTA指導者研修事業(社会教育研修事業)」>

1 優良PTA表彰事業

(1)優良PTA県教育委員会表彰選考委員会 5/17(金) 開催

(2)優良PTA県教育委員会表彰(12団体)

・山形市立第五小学校PTA ・山形市立第一中学校PTA

・上市市立宮川小学校PTA ・大江町立本郷東小学校PTA

・新庄市立八向中学校保護者と教職員の会 ・真室川町立真室川北部小学校父母と教師の会

・米沢市立第二中学校教育会(旧米沢市立南原中学校父母と教師の会)

・梨郷小学校PTA ・庄内町立余目第二小学校父母と教師の会

・酒田市立新堀小学校PTA ・山形県立左沢高等学校PTA

・山形県立東桜学館中学校・山形県立東桜学館高等学校PTA

(3)優良PTA文部科学大臣表彰(3団体)

・大江町立本郷東小学校PTA ・庄内町立余目第二小学校父母と教師の会

・山形県立東桜学館中学校・山形県立東桜学館高等学校PTA

2 PTA指導者研修会(子どもの生活リズム向上山形県フォーラム)

(1)期 日:11/9(土)

(2)会 場:山形県高度技術研究開発センター

(3)内 容:【午前】開会行事(優良PTA表彰),事例発表会,
生活習慣に関する指針について

【午後】講演 松崎泰 氏(東北大学加齢医科学研究所助教)

(4)参加者:170名

3 PTA資料「これからのPTA No.49」の作成

・優良団体実践事例等の編集:570部 県内各学校等への配布(3月予定)

4 活力あるコミュニティ形成に向け、地域の教育力を高める

(1)青少年の地域力発揮

<1「地域青少年ボランティア活動推進事業」>

1 中央センター事業

(1)山形県地域青少年ボランティア推進会議 第1回 5/8(水)、第2回 3/4(水)

(2)YYボランティアビューローの設置

・サークル活動調査(12月)※今年度より6月は調査なし

<R1年12/1現在>サークル数48、会員数907名

→会員数内訳＝小学生 67 名、中学生 315 名、高校生 517 名、その他 8 名

- ・ホームページによる情報発信
- ・夏の体験ボランティア 7月～9月(35市町村、101団体、128企画)
- ・YYボランティアに関する出前講座：9箇所 701名
- ・高校生のボランティア活動実態調査
(7月配布→9月回収→2月集計公表予定)

(3) 関連事業(青年の家主催事業)

- ・YYボランティアの集い 7/13(土)金峰少年自然の家 ※一日開催に変更
12/14(土)～15(日)県青年の家
- ・ボランティア関係者研修会 5/30(木)
- ・ボランティア実技研修会 9/1(日)

2 地区センター事業

(1) 地区地域青少年ボランティア推進会議：サークル担当者との情報交換(年2回)

(2) 中学生ボランティアリーダーセミナーの実施

- ・村山 8/6(火)～7(水) 1泊2日 県青年の家 96名
- ・最上 8/8(木)～9(金) 1泊2日 神室少年自然の家 59名
- ・置賜 8/6(火)～7(水) 1泊2日 飯豊少年自然の家 28名
- ・庄内 8/6(火)～7(水) 1泊2日 金峰少年自然の家 31名

(3) 地域青少年ボランティア活動セミナーの実施

- ・村山 6/17(月)天童市・イオンモール天童・77名
6/18(火)寒河江市・市民体育館・22名
11/10(日)天童市・げんキッズ・10名
- ・最上 2/1(土)新庄市・ゆめりあ
- ・置賜 7/14(日)米沢市・松川河川敷 2名
- ・庄内 2/2(日)遊佐町・14名

<2 「青年による持続可能な地域づくり推進事業」>

1 県実行委員会：実行委員(青年)29名(村山7 最上7 置賜8 庄内7)
第1回会議 6/23(日)、第2回会議 9/15(日)

2 各地区実行委員会

- ・村山：6/6, 7/11, 7/25, 以下 予定
- ・最上：5/29, 6/17, 7/12, 8/29, 9/21, 10/24, 11/7, 11/14, 12/17, 以下 予定
- ・置賜：5/27, 6/11, 7/11, 8/1, 8/21, 9/12, 10/3, 以下 予定
- ・庄内：9/4, 12/12, 以下 予定

高校生地域活動セミナー

- ・村山：9/1(日)大江町 10/5(土)大江町 11/2(土)大江町
- ・最上：11/17(日)新庄市
- ・置賜：10/20(日)南陽市
- ・庄内：1/23(木)鶴岡市・庄内農業高 ※インフルエンザの影響で中止
2/19(水)酒田市・酒田南高

(2) 地域の教育力を高める生涯学習環境の充実

<1 成人期・高齢期教育担当者研修事業「学びと協働による地域コミュニティ活性化事業」>

1 社会教育関係職員研修

(1) 社会教育関係職員初任者講座(生涯学習・社会教育関係職員パワーアップセミナー)

・期日・場所

【1回目】 6/13(木) 県青年の家 <参加者91名>

講師：山形大学地域教育文化学部 准教授 安藤耕己 氏
山形県家庭教育アドバイザー 金澤和子 氏

【2回目】Aコース（社会教育主管課職員・公民館管理職向け）

10/21(月) 県青年の家 <参加者 28名>

講師：栃木県立足利工業高等学校教頭 井上昌幸 氏

Bコース（公民館・コミュニティセンター実務担当者向け）

11/15(金) 遊学館 <参加者 49名>

講師：とちぎ市民協働研究会代表理事 廣瀬隆人 氏

- ・対象：市町村教育委員会社会教育関係職員、公民館関係職員等のうち、経験2年未満

(2)社会教育関係職員スキルアップ講座

- ・期日・場所 9/7(土) 洗心庵
- ・講師：NPO法人男女共同参画おおた理事長 坂田静香 氏
- ・参加者：38名

2 市町村研修等支援事業<出前講座…県社会教育連絡協議会助成事業>

H25-13カ所、H26-7カ所、H27-10カ所、H28-7カ所
H29-13カ所、H30-10カ所、R1-10カ所

3 市町村における成人期・高齢期の学習の調査

- ・平成30年度実績より（生涯学習センター除く）

○成人を対象にした事業数	1,459	回数	6,212	参加者数	306,534
	(H29 1,472		6,692		302,288)
○高齢者のみを対象にした	264	回数	1,987	参加者数	45,529
	(H29 245		1,807		42,546)

※高齢期教育は事業数、回数、参加者数すべてにおいて近年増加傾向にあり比較的充実している。成人期教育では、事業数、事業回数において減少しているものの、参加者数においては増加の状態にある。少子高齢化の影響により高齢者向けの事業は、今後もニーズに合う事業を展開することでさらなる増加も見込める。成人期においては、学習ニーズの把握をすることと、好評な事業を事例として広く紹介するなどの手立てが必要である。

4 地域ボランティア等人材発掘

- ・教職員退職準備セミナー（1月頃、県内4箇所 — 村山・最上・置賜・庄内）の機会を活用して、地域学校協働活動の趣旨説明とボランティアの担い手の依頼を行う。

<2「社会教育関係団体の支援（社会教育団体事業費補助金）」>

社会教育関係団体の健全な運営と活動の活性化を図るため、次の団体が実施する事業について助成した（予定を含む）。

- 1 県社会教育連絡協議会（県社会教育連絡協議会事業費補助金：110千円）
- 2 PTA連合会各団体
 - ①県PTA連合会（PTA連合会事業費補助金：46千円）
 - ②県高等学校PTA連合会（PTA連合会事業費補助金：27千円）
 - ③県特別支援学校PTA連合会（PTA連合会事業費補助金：37千円）
- 3 県婦人連盟（婦人団体事業費補助金：84千円）
- 4 ボーイスカウト県連盟（ボーイスカウト事業費補助金：42千円）

<3「県立図書館の整備・充実」>

<4「県民が集い・学ぶ県立図書館整備」>

<5「県立博物館の整備・充実」>

<6「県青少年教育施設の整備・充実」>

野外活動等における利用者の安全確保を図るため、海浜自然の家における毒蛾対策の防除・除草を行った。また、青年の家の本館外壁改修工事、金峰少年自然の家の非常用階段更新工事及び神室少年自然の家の炊飯器更新など、利用者が安全で快適に利用できるよう施設・設備の整備・充実に努めた。

<7「県社会教育委員の会議（生涯学習検討委員会）」>

※別紙にて報告

<8「社会教育主事養成事業」>

1 東北大学社会教育主事講習

◇日程：6/10(月)～6/11(火):県青年の家

7/ 1(月)～7/ 6(土):磐梯青少年交流の家

7/22(月)～8/ 7(水):東北大学川内キャンパス

- ・県研修では、講習の概要説明(日程、留意点等)、役割分担決定、講義、演習テーマの設定。
- ・東北大学では、全ての班(村山A、村山B、置賜、最上庄内)による演習発表会を実施。

◇受講者：20名(教員14名 市町村行政6名)

	村山	最上	置賜	庄内	計
小学校	4	1	2	0	7
中学校	2	0	0	0	2
高・特支	1	0	1	0	2
県行政	1	0	1	1	3
市町村行政	2	1	2	1	6

- ・特別支援学校の受講者なし。

◇受講者数の推移

年度	14	15	16	17	18	19	20	21	22
人数	34	32	30	32	25	24	19	20	21
年度	23	24	25	26	27	28	29	30	1
人数	19	19	19	15	15	14	15	14	20

2 国立教育政策研究所社会教育主事講習

- ・社会教育主事講習A(7/23～8/24)：受講者なし
- ・社会教育主事講習B(1/20～2/27)：受講者：2名(県行政1名、市町村行政1名)

3 社会教育主事有資格教員研修(教育事務所毎に実施)

期日・場所：

- ・村山：10/23(水)・寒河江市村山教育事務所 55名参加
- ・最上：6/25(火)・新庄市わくわく新庄 61名参加
- ・置賜：11/22(金)・南陽市赤湯公民館 48名参加
- ・庄内：11/22(金)・庄内町余目第二公民館 47名参加

<9生涯学習施設の整備・充実>

1 生涯学習センター管理運営費

<10「生涯学習振興に係る連絡調整(生涯学習推進委員会)」>

1 第5次山形県生涯学習振興計画説明会(県内4地区)

- ・各教育事務所等で行う会議の席上において、「地域学校協働活動ハンドブック～つながろう つなげよう」等を配付、好事例の紹介及び、地域学校協働活動等に関する事業についての質

疑等を実施。

2 生涯学習推進委員会

- ・障がい者の生涯学習に係る文科大臣表彰等への情報提供依頼等
- ・生涯学習振興計画進行管理表を活用した関係各課との情報共有
- ・関係各課で実施している出前講座の集約と情報発信
- ・関係各課で実施する生涯学習に関わる事業の課題等の集約、情報共有

5 その他

<1 諸会議>

1 教育事務所等連絡会議

- (1)教育事務所社会教育課長会議（年3回開催） ①4/5～6 ②9/19 ③1/31
- (2)教育事務所社会教育主事会議（年4回開催） ①4/10 ②4/26 ③9/6 ④2/7

2 社会教育施設連絡会議

- (1)県社会教育施設長会議（年3回開催） ①4/5～6 ②10/16 ③2/6
- (2)青少年教育施設研修担当者会議（年3回開催） ①4/10 ②10/23 ③2/13

<2 令和元年度文部科学大臣表彰>

1 優良公民館表彰

長井市致芳コミュニティセンター（長井市）

2 優良PTA表彰

大江町立本郷東小学校PTA

庄内町立余目第二小学校父母と教師の会

山形県立東桜学館中学校・山形県立東桜学館高等学校PTA（東根市）

3 PTA活動振興功労者表彰

5年ごとの実施のため今年度はなし

4 社会教育功労者表彰

富樫良秋 氏（庄内町）

5 視聴覚教育・情報教育功労者表彰

○文部科学大臣表彰：加藤正人 氏（南陽市）

○全国視聴覚教育連盟：後藤弘実 氏（遊佐町）

6 子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人）表彰

【学 校】 小学校2校

高等学校1校

【図書館】 公立図書館1館

【団 体】 1団体

7 「地域学校協働活動」推進に係る表彰

「西川町地域学校協働本部」（西川町）

8 「優れた早寝早起き朝ごはん運動」推進に係る表彰

「ながいアクティブキッズプロジェクト運動」（長井市）

9 「障害者の生涯学習支援活動」に係る表彰

「障がい者スポーツの普及と振興」 山形県障害者スポーツ指導者協議会（山形市）